



平成26年12月12日  
海上保安庁

## 次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップの開催結果(概要)

海上保安庁では、船舶自動識別装置<sup>\*1</sup> (AIS) の利用の拡大に伴う通信網の圧迫が見込まれる状況を踏まえ、通信のさらなる高速化・効率化・多機能化を可能とする次世代 AIS (VDES<sup>\*2</sup>) について、当庁主導でその国際標準化を図ることを目的に、海洋政策研究財団の平成26年度海外交流基金事業の一環として、国内外の AIS 専門家を招き第3回次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップを開催しました。結果の概要等は次のとおりです。

### 1 開催日程及び場所

日程：平成26年12月1日(月)～5日(金)

場所：TKPガーデンシティ永田町

### 2 参加者

聴講者 110名(初日の講演会)

国外参加者 8名

国内参加者 22名

### 3 結果の概要

#### (1) 講演会及びパネルディスカッション

初日には国内外の AIS 専門家による講演会及びパネルディスカッションを行い、110名の海事関係者が聴講するなど、VDES に対する理解を深めました。

#### (2) 会議

二日目以降の会議では、国外参加者8名、国内参加者22名の専門家を迎え議論を行い、第1回、第2回ワークショップの成果も踏まえ、次世代 AIS 国際標準化のための VDES に関する性能基準試案を策定しました。

今回のワークショップの成果については、平成27年2月に開催される国際航路標識協会 (IALA) ENAV 委員会中間会合において報告される予定です。

\* 1 船舶自動識別装置 (AIS : Automatic Identification System) : 船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航行状態及びその他の安全に関する情報を自動的に VHF 電波

で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステム

\* 2 VDES : VHF Data Exchange System の略



ワークショップ出席者



パネルディスカッションの様子



会議の様子